

日本小児感染症学会若手会員研修会第6回瀬戸内セミナー

ジュニアチューターとしての感想

南 希 成*

本セミナーでのAグループのお題は、「わかりたいあなたのための、クリニカル耐性菌入門」というものでした。

荘司先生のグループが似たようなテーマで取り組まれていましたが、当グループは「クリニカル」という点を意識して、「明日からの日常診療で使える!」ということを心がけました。そこで各メンバーから、これまでの臨床経験のなかで遭遇したり、困ったりした耐性菌感染の症例を提示してもらい、まずそれらについて意見交換をしました。

そうしたなかから症例を2,3提示し、現時点で大切だと思われる耐性菌について参加者と一緒に考えられるような形式で、適宜教科書的な知識も織り込みながら理解を深める、という発表をしようということになりました。

当グループには前回の夏季セミナー経験者もあり、またすでに耐性菌についてしっかりしたま

めを準備していたメンバーもあり、ジュニアチューターの役割としては、ときどきメンバーを叱咤激励し、コメントを述べるくらいでした。優秀なメンバーに恵まれ、本当に助かりました。

困ったことといえば、準備段階ではすべてメールでやりとりをするのですが、メンバー間で連絡がつきにくいことがときどきあり、そこで議論や作業が中断してしまったことでした。

ともあれ、今回はジュニアチューターとして、とてもよい経験をさせていただきました。メンバーのみなさん、それにすてきな舞台をセッティングしてくださった委員会と現地のみなさんには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

次に児島を訪れるときは、ホテルにカンヅメではなく、ぜひ観光もしたいです…。

* * *

* 長野県立こども病院総合小児科・感染制御室